

【概要版】嘉麻市地域公共交通計画

1 計画策定の趣旨

市内の公共交通を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、車社会の進展、さらにはバスやタクシーの運転手不足などにより、非常に厳しい状況です。一方で、運転免許返納後の高齢者や学生などの移動手段の確保、また、定住促進や市の魅力向上に向けてその重要性は年々高まっています。

本計画は、嘉麻市の公共交通に関するマスタープランとして、これまでの取組をより一層効果的・効率的に展開し、嘉麻市の活力・魅力の維持・向上に資するための計画として策定するものです。

2 計画の区域、期間、位置づけ

計画の区域は、「嘉麻市全域及び関連する周辺地域」とします。

計画の期間は、「令和5（2023）年度～令和9（2027）年度の5年間」とします。

本計画は、嘉麻市の「第2次嘉麻市総合計画」等を始めとする上位・関連計画と整合を図るとともに、福岡県や嘉飯圏域の関連する計画とも整合を図りながら策定しています。

3 嘉麻市の公共交通に関する課題

「地域の現状」、「公共交通の現状」、「上位・関連計画」、「市民アンケート調査」などを踏まえ、嘉麻市の公共交通に関する課題として、以下の4点を整理しました。

地域の現状（社会動向）	上位・関連計画
● 人口減少、少子高齢化のさらなる進展が見込まれるが、子どもは増加しているなど転出超過は減少傾向 ● テレワークの進展など働き方や暮らし方が多様化しておりそれを生かした地方都市の魅力や価値向上が求められる	● 活性化施策を推進する安全・安心な公共交通 ● 子育てに伴う負担軽減等、子育て支援の充実 ● 移動手段を持たない市民を支え、定住化促進に繋げる
公共交通の現状	市民アンケート調査
● 多様な交通モード、運行形態、運営主体により構成 ● 市バスと路線バスを併せた市の財政負担は年間約1億円（今後人口減少等で利用者が減少するとさらに負担が拡大） ● バス・タクシーの運転手確保がサービスを維持・向上するうえで課題	今後の公共交通サービスの方向性 ● 「高齢者や学生、子育て世代などにターゲットを絞って維持・充実する一方、利用者が少ない路線や時間帯は効率化すべき」が44%と最多。 公共交通の充実や利用促進を図るための市民参画 ● 「市民（地域）の主体的な参画を推進すべき」が過半数

公共交通の課題

課題1. 自動車に頼らなくても気軽に外出・移動できる環境の創出

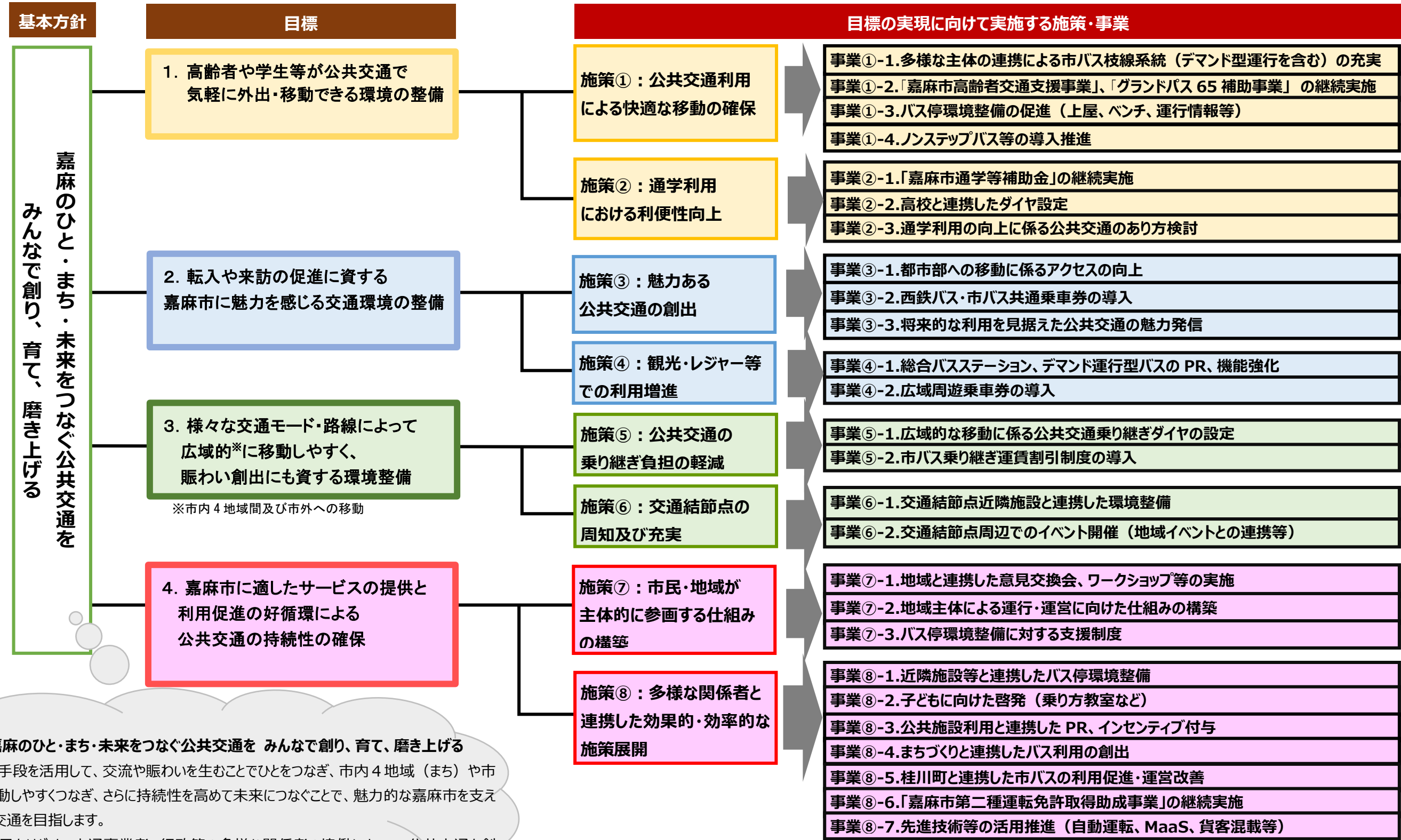
課題2. 転入や来訪の促進に資する魅力的な交通サービスが必要

課題3. 異なる交通モード・路線間の接続、交流や賑わい創出にも寄与する待ち合い環境の充実

課題4. 多様な関係者の主体的な参画と連携による好循環の創出（利便性向上と利用促進）

4 計画の基本方針、目標、施策・事業

基本方針として、『嘉麻のひと・まち・未来をつなぐ公共交通を みんなで創り、育て、磨き上げる』を掲げ、課題に応じた目標の実現に向け、以下の施策・事業に取り組みます。



基本方針：嘉麻のひと・まち・未来をつなぐ公共交通を みんなで創り、育て、磨き上げる

- 多様な交通手段を活用して、交流や賑わいを生むことでひとをつなぎ、市内 4 地域（まち）や市外拠点を移動しやすくつなぎ、さらに持続性を高めて未来につなぐことで、魅力的な嘉麻市を支え続ける公共交通を目指します。
- そのため、市民をはじめ、交通事業者、行政等の多様な関係者の協働によって、公共交通を創り、育て（利用し）、さらに利用しやすく磨き上げることで、利便性と持続性の両立を目指します。

5 評価指標・目標値

本計画の達成状況を客観的・定量的に評価するとともに、PDCAサイクルを用いた効果的・効率的な施策展開につなげるため、以下の評価指標・目標値を設定します。

基本方針・目標

評価指標・目標値

嘉麻のひと・まち・未来をつなぐ公共交通をみんなで創り、育て、磨き上げる

1. 高齢者や学生等が公共交通で気軽に外出・移動できる環境の整備

評価指標	現状値	目標値 (R9)
① 高齢者向け乗車券の販売件数	8,150 件 (R3 年度)	9,000 件
② デマンド運行型バスの利用登録者数	1,454 件 (R3 年度末時点)	2,500 件
③ 高校生の通学におけるバスの利用割合	51% (R4 年度)	60%
④ 待合環境の新たな整備箇所数	—	30 箇所

2. 転入や来訪の促進に資する嘉麻市に魅力を感じる交通環境の整備

評価指標	現状値	目標値 (R9)
⑤ 通学等補助金の年間利用者数	463 人 (R3 年度)	500 人
⑥ 総合バスステーションの利用者数	約 18,000 人 (R4 年度推計)	20,000 人
⑦ 民間公共交通の維持	JR 1 路線 西鉄バス 3 路線	維持

3. 様々な交通モード・路線によって広域的※に移動しやすく、賑わい創出にも資する環境整備

※市内 4 地域間及び市外への移動

評価指標	現状値	目標値 (R9)
⑧ 乗継ポイントバス停における市バス乗降人数	約 59,000 人 (R3 年度)	70,000 人

4. 嘉麻市に適したサービスの提供と利用促進の好循環による公共交通の持続性の確保

評価指標	現状値	目標値 (R9)
⑨ 市内のバス利用者数	288,112 人 (R3 年度)	317,000 人
⑩ 市バスの収支率	17% (R3 年度)	20%
⑪ バス運行経費に対する嘉麻市の負担額	約 1.0 億円 (R3 年度)	現状水準を維持
⑫ 公共交通網整備の取組に対する市民の満足度	27.6% (R1 年度)	50%

6 関係者の連携と協働による計画の推進

本計画の基本方針実現を目指すため、「市民（地域）」をはじめ、「交通事業者」、「行政」など多様な関係者の連携と協働のもと、双方向コミュニケーションを通じてそれぞれの立場から知恵を出し合うことをより一層促進し、一体感・連帯感を醸成しながら計画を推進します。